

安全データシート (SDS)

作成日：2025年2月5日

改訂日：2025年2月10日

1. 化学品及び会社情報

製品名：ムシクリン ハチの巣駆除ムース (300mL)

整理番号：24698

版数：02

供給者の会社名称：イカリ消毒株式会社
住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番11号
担当部門：商品開発G
担当部門住所：千葉県習志野市茜浜1-13-4
電話番号：047-451-5160 FAX番号：047-451-0916
緊急連絡先：商品開発G 電話番号：047-451-5160
推奨用途：不快害虫用殺虫剤
使用上の制限：推奨用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：

火薬類	区分に該当しない
可燃性ガス	区分1
可燃性・引火性エアゾール	区分1
酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	液化ガス
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性化学品	分類できない

健康に対する有害性：

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分に該当しない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性：

水生環境有害性 短期（急性）	区分2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

極めて可燃性・引火性の高いエアゾール

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ（中枢神経系、血液系）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系、呼吸器系）

水棲生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き：

【安全対策】

熱、火花、裸火、高温のもの等は遠ざけること。

煙、ガス、ミスト、スプレーの吸入を避けること

取扱後は手を良く洗うこと

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと

汚染された作業衣は作業場から出さないこと

指定された個人用保護具を使用すること

換気が充分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること

環境への放出を避けること

【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断、手当を受けること

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること

吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当を受けること

暴露または暴露の懸念が有る場合：医師の診断、手当を受けること

気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること

漏出物は回収すること

【保管】

缶のさびを防ぐために水回りや湿気の高い場所に置かないこと

換気の良い冷所で保管すること

【廃棄】

内容物、容器は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者等に廃棄物処理を委託すること

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名：

成分名	CAS No.	含有量
プラレトリン	23031-36-9	0.1%
液化石油ガス（可燃性ガス：噴射剤）、窒素ガス	登録済	2～5%

4. 応急措置

吸入した場合：

蒸気、ガス、粉塵等を大量に吸込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診療を受けること。

当該SDSや容器のラベルを医師に示して診療を受ける。

皮膚に付着した場合：	付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診療を受けること。
眼に入った場合：	直ちに大量の清浄な流水で15分間以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 出来るだけ早く医師の診療を受けること。
飲み込んだ場合：	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診療を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	水 [-] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 [-]
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の消火方法：	適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。 可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。 指定の消火器を使用すること。 高温にさらされるエアゾール容器は、水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。 エアゾール容器は、高温になると破裂の恐れがあるので、消火活動には距離を充分に取る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を使用する。 容器から漏れ発生時（噴出時）には、風上から処置を行う。容器の噴出部を上にし、完全にガスを抜く。 付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
環境に対する注意事項：	大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 河川等へ排出され、環境への影響を起さないように注意をする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 衝撃、静電気火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	換気の良い場所で取扱う。 火気に向かって噴射してはいけない。 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。 取扱後は手・顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。 容器が高温になる場所で取り扱っていると、容器が破裂する恐れがある。 屋外作業の場合には、風上から作業し、風を背後から受けるようにする。 噴射剤に継続して触れると、凍傷や炎症の恐れがある。
保管	日光の直射を避ける。 通風の良いところに保管する。 火気、熱源から遠ざけて保管する。 子供の手の届かないところに保管する。 40℃以上のところに保管しない。 水回りや湿度の高いところに保管すると容器が腐食して破裂の恐れがある。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：	取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。 取扱場所は給排気が充分にとれる設備とすること。
-------	---

保護具：

呼吸用保護具	有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	長袖・長ズボンを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液状（容器中）
色	淡黄色透明
臭い	わずかな特異臭がある
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタール／水分配係数（log 値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	通常の手扱いにおいては安定。
化学的安定性：	通常の手扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性：	下記の分解生成物が発生するおそれがある。
避けるべき条件：	情報なし
混触危険物質：	強酸化剤と接触すると発火の恐れがある。
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

組成物質の有害性 プラレトリン	急性経口毒性 ラット LD ₅₀ : (♂)>2,000mg/kg (♀)>2,000mg/kg 急性経皮毒性 ラット LD ₅₀ : (♂)>2,000mg/kg (♀)>2,000mg/kg 眼刺激性（ウサギ） : 刺激性なし 皮膚刺激性（ウサギ） : 刺激性なし 皮膚感作性（モルモット） : 陰性
組成物質に関するその他の有害性情報	噴射剤に継続して接触すると、凍傷や炎症を起こす恐れがある。 特に情報を有していない。
製品に関する有害性情報	製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

生態毒性（急性） プラレトリン	魚毒性 ヒメダカ LC ₅₀ (96hr) : 4.46 µg/L
生態毒性（慢性）	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

漏洩した時や廃棄の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱には注意をすること。
容器、機器などの洗浄水をそのまま排水溝へ流さないこと。

13. 廃棄上の注意

中身を使い切ってから廃棄する。
ガスが出なくなるまで使い切った後でも、そのまま火中に入れると破裂する恐れがある。
使用残、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

14. 輸送上の注意

共通 : 取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。
国連番号 : 1950
国連分類 : 3

15. 適用法令

労働安全衛生法 表示・通知対象物質	ジエチレングリコールモノエチルエーテル (CAS No. 111-90-0、含有率 2.0%) セロソルブ (CAS No. 110-80-5、含有率 1.0%) ジエチレングリコールモノメチルエーテル (CAS No. 111-77-3、含有率 2.0%) プロピレングリコール (CAS No. 57-55-6、含有率 5.0%) ミリスチルアルコール (令和 8 年 4 月 1 日施行 CAS No. 112-72-1、含有率 1.0%) ノルマルブタン (CAS No. 106-97-8、含有率 5.3%) イソブタン (CAS No. 75-28-5、含有率 5.3%)
化学物質管理促進法	アルファオレフィンスルホン酸ナトリウム (含有率 1.1%) 2-(2-メトキシエトキシ)エタノール (含有率 2.0%)
毒物及び劇物取締法	非該当

16. その他の情報

参考文献 製造委託先 SDS ムシクリン ハチの巣駆除ムース 2025 年 1 月 28 日

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策の実施をお願い致します。
本品の使用の際には、ラベル等の記載をよく読み、十分理解した上で、使用方法及び用途を厳守して使用してください。

【改訂履歴】

2025 年 2 月 5 日 : SDS を新規作成。整理番号 24698、版数 01

2025 年 2 月 10 日 : 15. 適用法令のジエチレングリコールモノエチルエーテル含有率修正。版数 02